

## 抄録作成チェックリスト

下記については、抄録でよくある修正事項です。こちらは抄録作成の基本的なチェック項目になりますので、より詳細な内容については「抄録作成時の注意点」をご覧ください。

### タイトル

- ・商品名、未承認材料名が入っていない。
- ・施設名を入れていない。
- ・「第〇報」という表現を使用していない。
- ・英文タイトルは、最初の文字のみ大文字で後は小文字になっている。

### 演者

- ・筆頭演者および共同演者が本会の会員である。 ⇒ 非会員の方は入会してください。
- ・筆頭演者が発表者となっている。
- ・発表者数は研究報告では、5名、多施設にわたる疫学調査では8名までになっている。症例報告では5名までになっている。
- ・氏名の英語表記が 姓が半角大文字 名が半角大文字イニシャル表記となっている。   
例) 山田 太郎 YAMADA T

### 所属

- ・個人歯科医院名が使用していない。 ⇒ 所属支部または学会指定の研修施設名に変更してください。

### 本文

- ・発表内容が発表済みあるいは他学会で発表予定ではない。
- ・形式を研究報告では、Ⅰ目的： Ⅱ材料および方法（もしくは対象および方法）： Ⅲ結果： Ⅳ考察および結論： の項目ごとに表記されている。（“及び”は“および”と表記）  
症例報告では、Ⅰ目的： Ⅱ症例の概要： Ⅲ経過： Ⅳ考察および結論： の項目ごとに表記されている。
- ・項目のあとに全角一字分の空欄をあけている。 ⇒ 例) Ⅰ目的： この研究は～
- ・句読点は「、。」ではなく全角の「，。」になっている。
- ・本文の文字数は1000字（全角）の70%以上の字数を満たしている。
- ・謝辞を入れていない。 ⇒ 謝辞は削除してください。
- ・動物実験およびヒトにおける研究については、所属機関倫理委員会の承認（要承認番号）を受けていることを明記している。
- ・薬事未承認材料のヒトへの使用においては、倫理委員会の承認（要承認番号）ならびに患者の同意を得ていることを明記している。